Optim Development Studio

バージョン 2.2.1

クイック・スタート・ガイド

本書は、IBM Optim Development Studio の標準的なインストールを開始するためのガイドです。

製品の概要

IBM Optim Development Studio は、データ・アクセス効率やパフォーマンスを高めると同時に、アプリケーションの設計、開発、デプロイメントの実行速度を向上させる統合データベース開発環境です。 Optim Development Studio を使用すると、各種ルーチンの開発とテスト、データ処理を中心とする Web サービスの生成とデプロイ、SQL および XQuery スクリプトの作成と実行、データベースまたはメモリー内のデータにアクセスする Java アプリケーションの開発などを行うことができます。さらに、ご使用の開発またはテスト環境に応じた標準的なオブジェクト管理タスク (データベース・オブジェクトの作成と変更、特権の管理など) を実行できます。

1 ステップ 1: ソフトウェアとドキュメンテーションにアクセスする

製品を Web からダウンロードする場合は、以下から入手できるダウンロード文書の指示に従ってください。

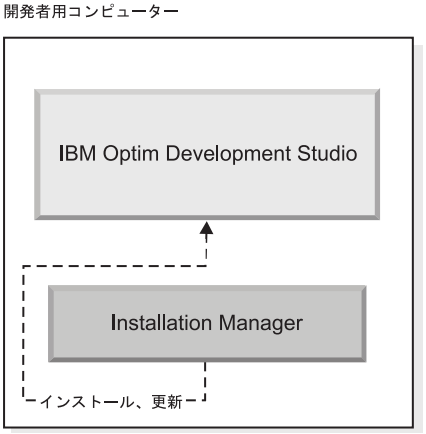
`http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg24027768`

この製品には以下のものがあります。

- Quick Start CD
- IBM Optim Development Studio DVD
- IBM Optim Development Studio License Enablement Kit CD

2 ステップ 2: 基本体系を確認する

次の図は、Optim Development Studio の標準インストールを示したものです。Optim Development Studio 製品をインストールおよび更新するには、IBM® Installation Manager を使用します。ご使用のコンピューターに Installation Manager がまだインストールされていない場合は、ランチパッドによって Installation Manager と Optim Development Studio の両方がインストールされます。



3 ステップ 3: ハードウェアおよびシステム構成を評価する

以下にある詳細なシステム要件の資料を参照してください。

`http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27015710`

4 ステップ 4: IBM Installation Manager を使用した Optim Development Studio のインストール

Optim Development Studio をインストールするには、ランチパッドを使用するか、Installation Manager のインストール・ウィザードを直接開始して、インストール・プロセスで表示されるプロンプトの指示に従ってください。製品 DVD を挿入するか、`setup` ファイルを実行すると、ランチパッドが自動的に開きます。

Optim Development Studio と互換性のある Eclipse ベースの IBM 製品が既にコンピューターにインストールされている場合は、Optim Development Studio を同じパッケージ・グループにインストールすることもできます。このようなタイプのインストールを行うことで、Eclipse リソースを共有し、各製品のすべてのタスクを同一の統合開発環境で実行することができます。

Optim Development Studio と互換性のある製品について詳しくは、以下の技術文書を参照してください。

`http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21279139`

5 ステップ 5: アクティベーション・キットのインポートによるライセンスの構成

Installation Manager の「**ライセンスの管理**」ウィザードを使用して、ライセンス・アクティベーション・キットを License Activation Kit CD からインポートします。

6 ステップ 6: 製品を開始する

製品を開始するには、「スタート」メニューを使用するか、または製品のインストール・ディレクトリーにある `eclipse` ファイルを実行します。重要なアプリケーション開発タスクを開始するには、タスク・ランチャーを使用してください。

インストールおよび構成の説明を参照する

インストール方法について詳しくは、インフォメーション・センターの詳細なインストール手順を参照してください。

`http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/idmhelp/dev-v2r2/topic/com.ibm.datatools.ods.install.doc/topics/c_install_product.html`

詳細情報

詳しくは、次のリソースを参照してください。

Optim Development Studio インフォメーション・センター

`http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/idmhelp/dev-v2r2/index.jsp`

Integrated Data Management Support Web サイト

`http://www.ibm.com/software/data/optim/support/`

IBM Optim Development Studio, Version 2.2.1 Licensed Materials - Property of IBM. © Copyright IBM Corp. 2010. IBM、 IBM ロゴおよび ibm.com® は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。Java™ およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

部品番号: CZPF3ML

Printed in Ireland